

娘の小学校入学

NVG ほどかや チュアン・チンホウ

1. はじめに

みなさん、こんにちは。台湾から来ましたチュアン・チンホーと申します。

2年前から家族と一緒に保土ケ谷区に住んでいます。

今日は、娘の小学校入学についてお話しします。

去年の秋、区役所から入学通知書が届きました。

「いよいよ来年の春には、娘が小学一年生になるんだ。」と実感がわいてきました。

2. ランドセル選び

日本の小学生と言えばランドセルですね。

そこで、娘と一緒にランドセル専門店へ行きました。

ランドセルの色がたくさんあって、娘はどれにするか悩んでいました。

そして、突然、「これとこれとこれ、ランドセル、3つ買ってもいい？」と聞いてきました。

私は驚いて、「ええ？ 3つ？ 1つだけだよ。」と言うと、

「ママは毎日違うバッグを使っているのに、どうして私はランドセルを1つだけなの？」

と言ってきました。

最初は娘がなぜそんなことを思うのか理解できませんでした。

でも、娘にとっては確かに不思議なことだったかもしれません。

私は娘の言葉を聞いて、自分のついいろいろな物を買ってしまう習慣を反省しました。

結局、娘が一番気に入ったミント色のランドセルを選びました。

3. 学校の帰り道

入学が近づくにつれ、私はいろいろ心配になりました。

「ちゃんと学校に通えるかな。」

「娘はあまり歩くのが好きではないので、自分で歩いて行けるかな。」

「通学路は坂と階段が多いので、大丈夫かな。」

しかし、そんな心配をよそに、学校が始まると、娘は歩いて通うことにだんだん慣れてきました。新しい友達もできて、「毎日学校へ行くのが楽しいよ！」とうれしそうに話してくれました。

ある日、いつもなら学校から10分で帰ってくるのに、この日は40分もかかりました。

「公園で遊んできたの？」と聞くと、娘は「う～うん、まっすぐ帰ってきたよ。」と答えまし

た。その後も 40 分かかる日が続きました。

気になって、ある日そっと帰り道の様子をのぞいてみました。すると、娘は歩きながら、咲いている花を見つけて立ち止まったり、階段に落ちている石を拾ったり、歌を歌ったりしていました。私は、娘が一人で行動できるようになったことをうれしく思いました。

4. おわりに

子どもの成長は本当にあっという間です。私も母親として成長していかなければと感じました。

これからも娘の成長を楽しみに、娘を毎日温かく見守っていきたいと思います。

ご清聴、ありがとうございました。